

様式(細則 5-2)

平成 23 年 10 月 31 日

浜田市議会議長 牛 尾 博 美 様

議員名 佐々木 豊治



調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成 23 年 10 月 27 日 (木) ～10 月 27 日の 1 日間
2. 視察又は訪問先
広島県安芸郡熊野町
3. 調査経費 5,944 円
経費内訳 交通費 ガソリン代 1,594 円
高速道路代 4,350 円
4. 調査研究活動の概要
別紙



・視察項目

「西部地域健康センターの取組みについて」

・熊野町の概要

熊野町の面積は 33.62k m²で、人口は昭和40年代前半までは1万人程度であったが、県営団地の造成を機に急増し、50年代後半以降は2万5千人程度で推移している。

産業としては、170年の伝統がある工芸品「熊野筆」があり、毛筆、画筆、化粧筆の国内生産8割を占め、「筆の都」として発展



熊野町

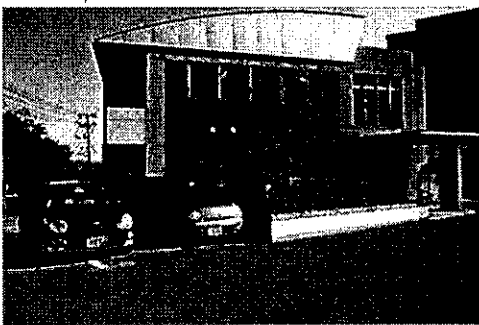
してきた。

「筆と和紙」の関係で、昨年から浜田市との交流も始まり、それぞれの記念行事には双方の出店もある。

・西部地域健康センター事業

世代を超えて、住み慣れた地域で、生き生きと健康に生活するための介護予防事業、子育て支援事業、多世代交流事業及びボランティア活動の拠点づくりとしての活動を展開する目的で、平成13年に開設された。

隣接して、県営住宅が建設されており、その内には緊急通報システムも装備され、高齢者の居住密度が高い地域でもあり、多くの高齢者が利用しやすい立地にもなっている。



西部地域健康センター

健康センターの事業内容としては、「生きがいクラブ（生きがい活動支援事業）」として、入浴、昼食、レクリエーション、健康体操などをおとした生きがいづくりと介護予防。「ヘルストロン」の機器で体に電通することにより健康の維持増進。介護予防教室や保健事業などや、様々な文化

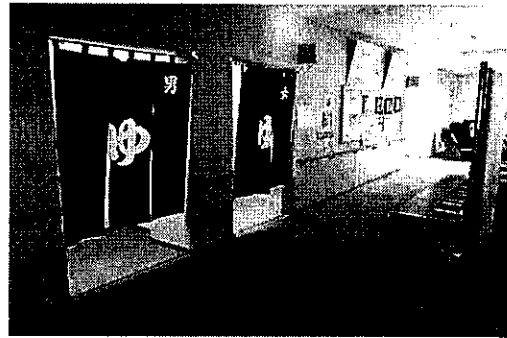
講座も行われている。

また、子育て支援センター事業としては修学前までの乳幼児や保護者を対象に、遊びの場の提供、育児支援などが行われ、子育ての相互援護のファミリーサポート事業、各種イベントなどをおとした多世代交流事業などが行われている。

年間約2万人の利用があり、世代を超えて生き生きと健康に暮らすための施

設として、機能していた。

浜田市においては、この熊野町の取組みを参考に、施設の有効活用を図るなかで、特に高齢者が健康で生き生きと暮らせるための健康事業のための施設整備をさらに進めていくべきと感じた。



施設内の浴場